

対岸の火事ではありません!

皆さんご承知の通り、六月十四日に岩手・宮城内陸地震が発生してしまいました。

サンマーを襲ったサイクロン、中国四川省大地震に続いての自然災害です。

けつして「対岸の火事」ではないと思いません。

わかつてくるか

所の確認など、日頃

の準備が必要で

熊本市では、災害

発生時に隣近所や町内の人たちが協力し助け合う「自主防災クラブ」の推進や、災害発生の

懼れがあるとき、自分で避難すること

が困難な高齢者や障がいのある方

などの避難のお手伝いをする「避難支援ボランティア」を募集して

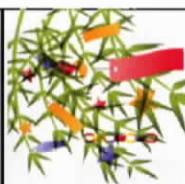
います。



「自主防災クラブ」については
危機管理防災室（328-2490）

「避難支援ボランティア」については
地域保健福祉課（328-2297）

までお尋ねください。



あいぼーじからのお知らせ

☆「あいぼーじサロン」開催について



5月27日、「国連N G O世界平和女性連合熊本県連合会」・「あそび環境」と2団体をお招きして、第7回あいぼーじサロンを開催しました。

今回は、ポケット・ポケットさんの活動である「あそび」を参加者全員での体験していただき、大変和やかな中でのあいぼーじサロンでした。

次回は、7月25日金19時からの予定です。みなさんも是非、参 加してみませんか？

☆「ふれあい出前講座」について

NPO・ボランティア活動に関すること（活動の事例紹介等）について、あいぼーじ職員が、皆さんのお所にお伺いしてお話させていただきます。

☆「街中清掃」の実施について

早くも夏の足音が・・・
になつきました『火の国まつり総踊り』の後の街中清掃を今年も実施します。

今年は8月10日（日）午前7時からの予定です。

参加申込はお電話で
あいぼーじまでお願いします。



「はじめの一歩 第17号」編集担当の、かおりんです。
今回は、大学生の活動特集！という事で、大学へ取材に行ってきました。その時の感想を一言。
私たちにお話ししてくださいが、ストレートに伝わってきました。エネルギーに満ち
あふれた姿は、とても輝いて見え、若さ＆初々しさを「イイなあ～！」と感じ、私の「ピュア！」な心
が振り動かされました。
この時に感じた気持ちをずっと忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。



【編集・発行】〒860-0806
熊本市花畠町7番10号 熊本市産業文化会館1階
熊本市市民活動支援センター・あいぼーじ
電話 096(328)2868 FAX 096(322)6677 Eメール shinminkyoudou@city.kumamoto.lg.jp

＜編集後記＞「かおりん」のささやき

4月12日に、江津湖の清掃活動に参加しました。当日は朝7時と朝早くからあつたにもかかわらず、大学生・社会人など多くの人が参加していました。地元の小中学生や、大学生・社会人など多くの人が参加していました。私も、清掃活動には興味があつて参加したのですが、みんなでごみを始めた分だけ江津湖をきれいにしました。小学生にどつても、ごみ袋いっぱいになりました。小中学生にどつても、清掃活動を通して、環境保全の大切さを学べる良い機会になつたなあとと思いました。

熊本県は水がきれいであります。有名なので、江津湖のような水のきれいな場所は大切にしていきたいと思いました。朝早くですがすがしい中の清掃活動はどうでも気持ちがよかったです。また今後も参加したいと思います。

私たち、ボランティア活動を 体験しました！

あいぼーじでは、よかよかボランティア登録者の方に、色々なボランティア活動を体験していただきましたために、あいぼーじ職員と一緒に参加する「ボランティア活動体験」を実施しました。

今回参加の3名の方から、
参加しての感想を寄せていた
きました。

皆さんも、自分のベースで、
楽しみながらできるボランティア活動を見つけ、活動への
「はじめの一歩」
を踏み出してみましょう！



田中 浩樹さん

老健施設「フオレスト熊本」での体験ボランティアに参加しました。最初の1時間程度、入所の方々との接し方などについての研修があり、その後、実際に入所の高齢者の皆さんとのお話しや、身の回りのお世話をさせました。私は、ボランティア活動を長年続けていますが、ボランティア活動をする自分が優しい気持ちになりました。

(清龍) 柴田 佳吾さん

老健施設「フオレスト熊本」での体験ボランティアとして、「自立の店ひまわり」で、知的障がいを持つた子どもたちのパン作りのお手伝いをさせてもらいました。また、不慣れな私に、パン作りで、最後の掃除まで、一生懸命に取り組んでいた姿を見て、大変感動しました。今回参加して、子どもたちの自立のための活動の必要性を痛感し、色々な所で、この様な活動が盛んに行われたらいいなと思いました。

K・Mさん

体験ボランティアとして、「自立の店ひまわり」で、知的障がいを持つた子どもたちのパン作りのお手伝いをさせてもらいました。また、不慣れな私に、パン作りで、最後の掃除まで、一生懸命に取り組んでいた姿を見て、大変感動しました。今回参加して、子どもたちの自立のための活動の必要性を痛感し、色々な所で、この様な活動が盛んに行われたらいいなと思いました。



はじめの一歩

大学生ボランティア活動特集

最近、若者たちのエネルギーが、子ども達の瞳を輝かせ、地域の大人たちを笑顔いっぱいにしているんです。なぜか?...答えはこの中にあります。

今回、ボランティアに携わっている大学生の活動を取材し、みなさんにお話を聞いてみました!

青空活動隊

(熊本学園大学)

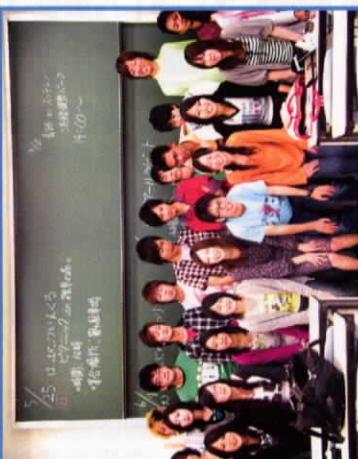
活動内容

熊本市保健福祉センター等での託児ボランティアや、高齢者や障がい児施設等からの依頼を受け、入所者の付き添い等のボランティアを行っています。

活動を通して思うこと

ボランティア活動に参加し、学んでいく中で、保護者の方々やOB・OGとのつながりが出来ていくのですが、とても大切な事だと思います。

不思議なもので、活動を通して知り合い、触れ合った人たちに対しては、「もう一度、会いに行こう!」という気持ちになります。



次回活動に
繋がってい
ます。



Maple Leaves

(熊本県立大学)

活動内容

学校に届いたボランティア募集情報や、大学のOB・OGの方からの依頼等で、色々なボランティア活動にチャレンジしています。

活動を通して思うこと

ボランティア活動は、堅苦しいイメージがありましたが、一度、イベントや託児のボランティア活動に参加すると、その後、色々なボランティア活動に気軽に参加することが出来るようになりました。

ボランティア活動は「最初の一歩」さえ踏み出せれば、次の活動、その

次回活動に
繋がってい
ます。



チヤオ

(熊本大学)

活動内容

熊本大学教育学部附属特別支援学校の課後、エネルギーを発散して楽しめる運動を中心に活動しています。

雨の季節は、絵を描いたり、粘土細工等で遊んでいます。

活動を通して思うこと

活動を始めて5年目になりますが、子どもたちに接することで、私たちも楽しめます。また、子どもたちの成長は、大きな喜びとなり、明日への

力となります。
ボランティアは、「自分ながらする力」となります。
ながく楽しむための力となり
ます。



青い鳥

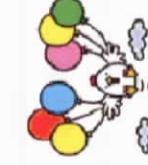
(熊本大学)

活動内容

小学校や公民館で、人形劇を中心とした2時間程度の交流会を行っています。夏休みには、熊本市外での公演も行います。

活動を通して思うこと

スローガンは、
「子どもに夢を!」



入部当初は、子どもが苦手だったサークル員も、子どもたちとの交流を通して、子ども好きになりました。



今後も、
子どもたちに夢を与える機会をどんどん増や
いきたいと思
います。

学生奉仕団

(尚絅短期大学)

活動内容

私たちは、幼児教育学科の学生が集まつたグループで、週に1度、知的障がい児施設を訪問して、子どもたちの歯磨きのお手伝いを一緒に遊んだりしています。

地域風土計画研究室

(熊本大学)

活動内容

私たちの研究室では、「川とまちづくり」を行っている中で、坪井川の除草作業などの活動も行っています。



活動を通して思うこと

坪井川の除草作業を通して、地域の皆さんとの繋がりや、交流を持つことによりいろいろな知識を得ることができます。勉強になっています。

「熊本で、一番好きな場所は?」との質問に、「坪井川」という答えが、多くの人が返ってくる日を目指しています。